

# — 総合的な学習の時間の取組 —

## 3年生 「遠賀川と私たち」

遠賀川（椎の木川）の環境や災害について考える

学校目標：なかよくまなび、ずっとたかめ合う、心身共にたくましい児童の育成



- 明治6年2月15日に創設され、139年の歴史
- 飯塚市の北西部、遠賀川沿いに位置し田園が広がる自然豊かな学校
- 児童数197名10学級

飯塚市立鯉田小学校

森山 志織



# — 総合的な学習の時間の取組 —

## 3年生 「遠賀川と私たち」

遠賀川（椎の木川）の環境や災害について考える

- 1 はじめに
- 2 3 学年総合的な学習の時間について
- 3 取組について
- 4 成果について



# 鯰田小学校は遠賀川支流・椎の木川に囲まれている→校門と橋が一体化





# 総合的な学習の時間の目標

自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動する態度を養う。

生活に生きる問題解決力を育てるとともに、自信と学ぶ意欲を持たせる。



## 第3学年年間指導計画について

遠賀川を中心に環境について考え、環境をよくする看板を作って発信する。

5月 遠賀川について調べよう

6月 遠賀川に探検に行こう

7月 遠賀川について分かったことを新聞にまとめよう

・9, 10月 遠賀川と災害について考えよう自分達で、ハザードマップを作ろう

・11月 遠賀川のゴミについて考えよう

・12月 遠賀川のゴミについて発表しよう

・1月 遠賀川について看板をつくろう

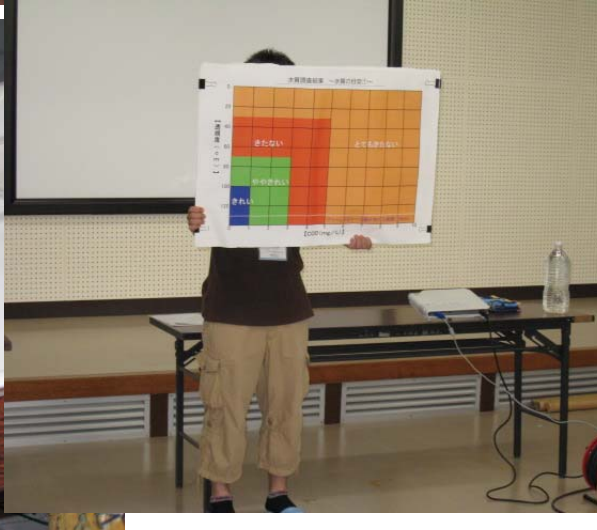
# 地域の人材・ものを生かして学習 遠賀川の歴史について





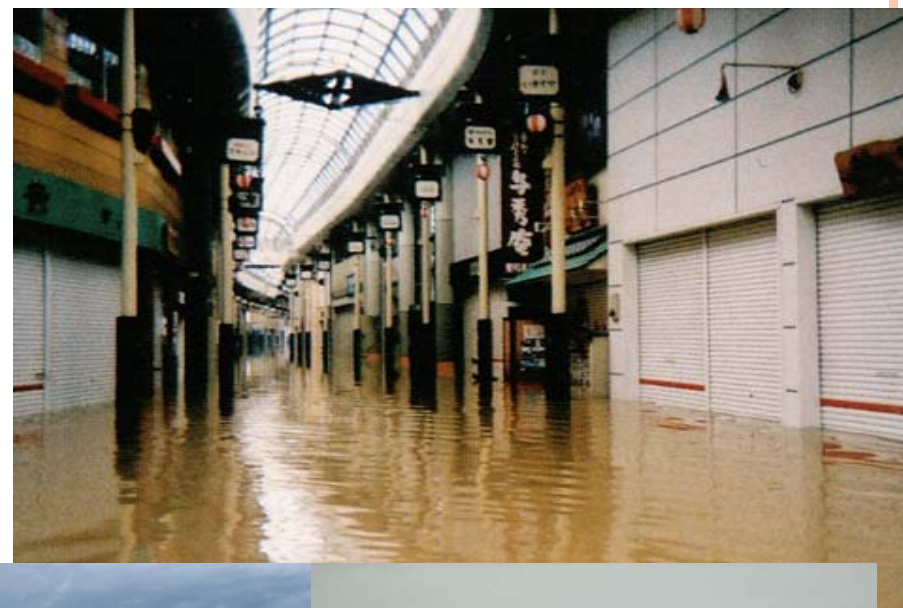
# 遠賀川で体験学習

## 講師：遠賀川河川事務所の皆様





# 平成15年の飯塚市の大水害について知る





1. 3年 総合的な学習の時間 「遠賀川とわたしたち」

指導者 小島 恵美子

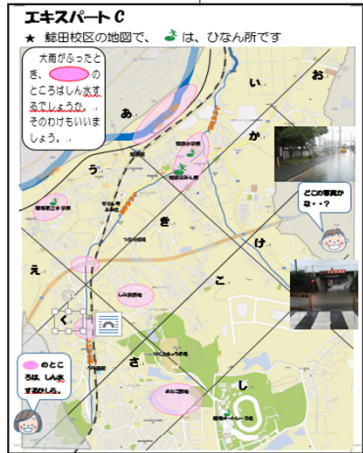
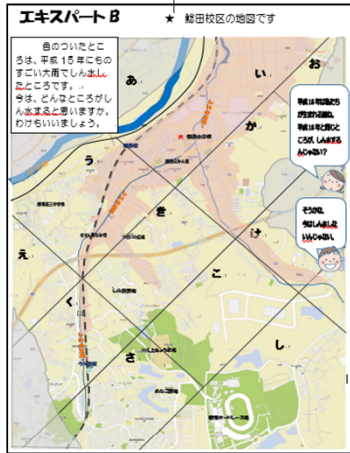
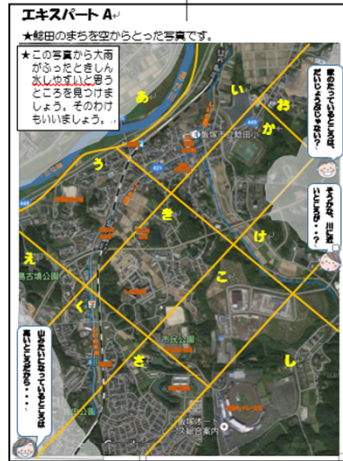
本時の  
ねらい

鯉田地区の地形に関心を持ち、大雨の時どこが浸水するかを予測し、そのわけを書くことができる。

メイン  
の課題

大雨で水害がおきたとき、鯉田地区はどこが「しん水」するか考え、わけも書こう。

エキスパート  
活動



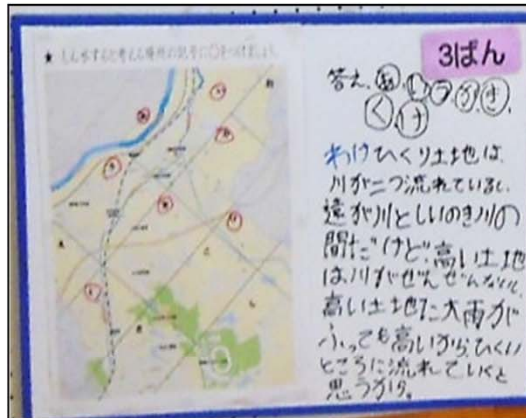
活動の  
様子



ジクソ  
一活動

大雨で水害がおきたとき、鯉田地区はどこが「しん水」するか考え、わけも書こう。

活動の  
様子

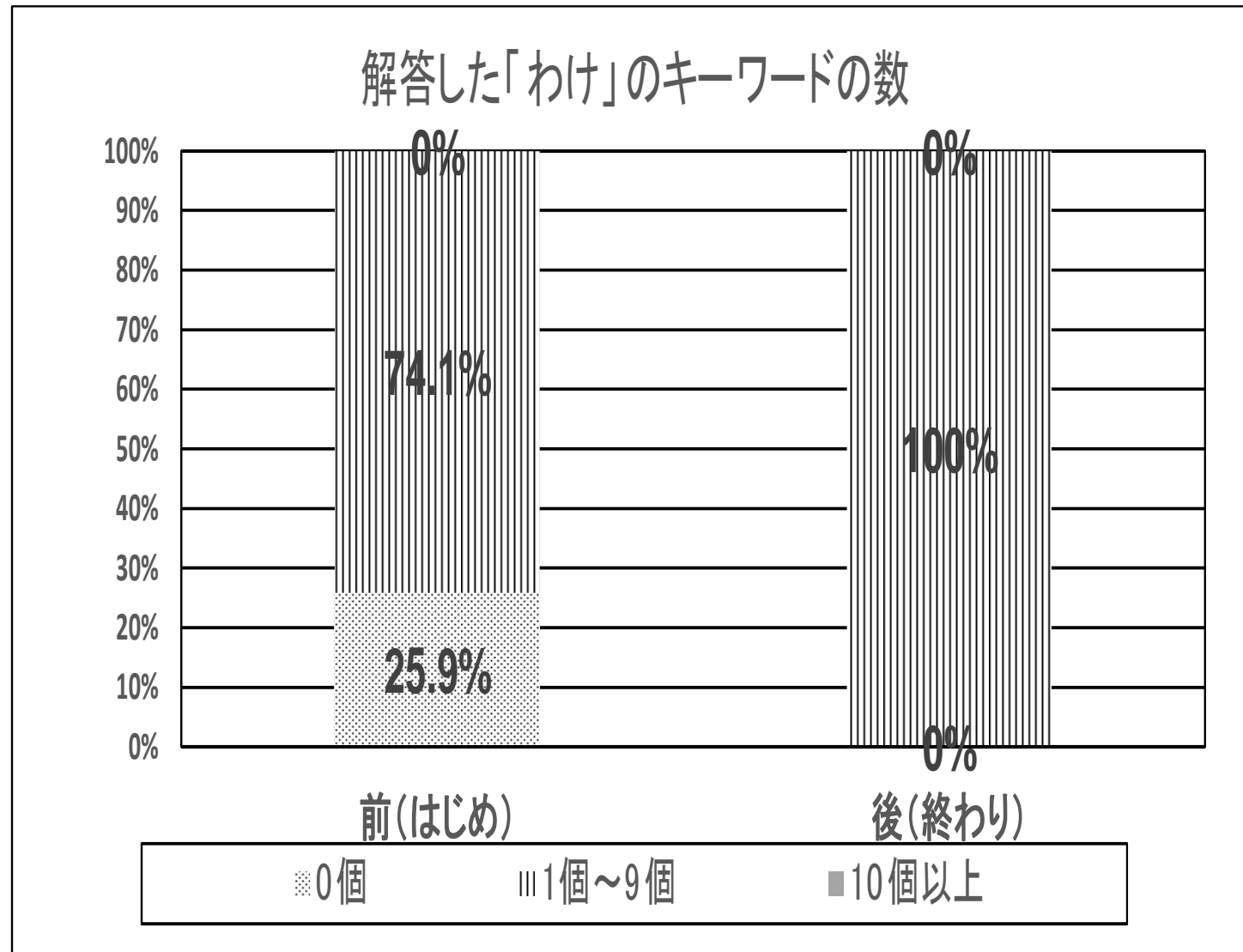


ゴール  
の設定

地図や資料の読み取りを通して、水害から身を守ることへの関心を高め、自分の身を守ろうとする意欲を持つことができる。  
自分たちの鯉田地区のハザードマップを作ったり地域の人々と交流したりして、地域の取り組みや生活についても関心を持つことができる。



## 《ふり返りシートのキーワードの集計結果》





# 遠賀川の環境をよくしよう ごみひらいをしよう





# 環境ポスター作り



# 学校・地域共催で災害訓練



**飯塚市消防士の皆様と鯉田地区消防団の  
皆様に、実際の放水訓練をされました**





# 「自助」「共助」で日頃から災害に対する意識を高めるために



長さん会議中





**児童による消火訓練**



**保育園職員と園児による消火訓練**



**高齢者福祉施設職員と利用者さんによる消火訓練**



**児童が消防署の方へ質問**



# 遠賀川の防災・減災(大規模水害に備えたソフト施策)

- 遠賀川の大規模氾濫に備えるために、流域の21市町村と福岡県と共同して、平成28年8月に「遠賀川の減災に係る取組方針」を策定した。→大規模氾濫減災協議会(今後、水防法で設置義務化)
- 現在、流域の関係機関が一丸となって、防災・減災の充実を図るための取組を進めている。



## ■取組の三本柱

- 遠賀川水防災学習の普及による水防災文化の醸成
- 関係機関の連携による避難、水防、復旧体制の強化
- 避難行動につながる確実かつ住民目線のわかりやすい情報の提供

## ■協議会の状況(平成28年8月4日)



## ■平成28年8月5日 毎日新聞(朝刊)

**共同で減災計画作成**  
遠賀川大規模水害に備え

福岡県と遠賀川流域の21市町村が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。遠賀川流域の21市町村と福岡県が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。遠賀川流域の21市町村と福岡県が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。

福岡県と遠賀川流域の21市町村が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。遠賀川流域の21市町村と福岡県が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。遠賀川流域の21市町村と福岡県が、大規模な水害に備えるための減災計画を作成する。





めあて:わたしたちの身の回りで起こっている  
自然災害について調べよう

【教師用解説書付き教材】

日本の自然災害

地形が関係



・地しん

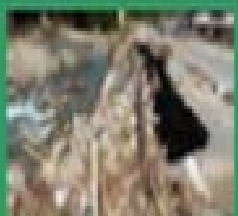


・津波



・火山のふん火

気象が関係

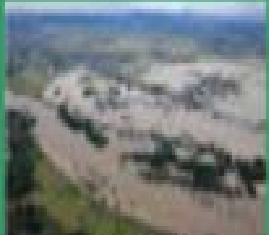


・台風

地形と気象が関係



・土砂くずれ

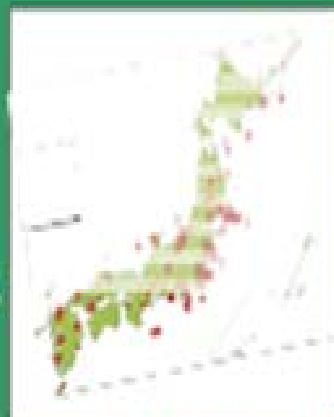


・こう水

なぜ災害は  
起こるのだろうか



〇〇市(町)ではどんな自然  
災害が多いだろう?



地震の震源地

〇〇市(町)ではなぜ水害が起こりやす  
いのだろう?



遠賀川流域  
立体地図の使用

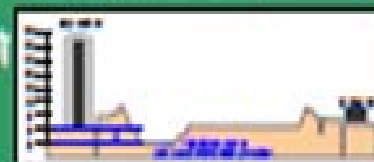
- ・彦山川と遠賀川が合流する
- ・〇〇市は土地が平らで低い

台風のほか、  
・竜巻・冷害  
・雪害 など

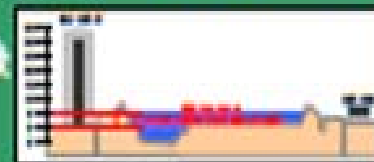


水害の発生地

こう水前



こう水後



学習問題: 自然災害からくらしを守るために、  
どのような取り組みが行われて  
いるのだろう

# ・教科書とリンクした教材の提供

配付された資料  
を活用した担任  
による授業

